

佐野短期大学シラバス2013

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
障害者スポーツ演習 Adapted Sport therapy		1年	後期	月曜日 4、5時限
単位数	授業の形態		授業の性格	
1単位	演習		選択 (選択・資格課程必修(初級障害者スポーツ指導員))	
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
障害者スポーツ論				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特に無し				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス	
斉藤智子	非常勤講師室	月曜日14:30~17:40	授業中に指示します	
授業の概要				
介護施設や運動施設には多くの障害者がいる。その障害者の運動機能の維持・向上や精神機能を賦活化させるために運動・スポーツは大変有効な療法として広く認知されている。障害者の障害を知識として理解することにより、優れた対応ができる人材養成を図る事を目的とする。また障害者スポーツのルールや競技等の世界を知り、障害を越えた”生き甲斐”を求めてスポーツに取り組んでいる人々への理解を深める機会とする。				
授業の到達目標				
障害者の運動機能の理解や取り巻く制度や各種大会が理解できるようにする。 実際に障害が身体を動かす際に困難となる状況を体験し、その克服方法を理解できるようにする。				
授業の方法				
後期：校庭・体育館やプール等による実習。および障がい者との交流を体育館で行う。				
学習の成果				
①障害者の生活・活動状態が理解できる ②障害者に対するスポーツ援助知識が理解できる ③障害者との交流が体験でき、そのことからさらに知識を深めることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	障害者の理解とスポーツ①身体・知的・精神			
第2回目	障害者の理解とスポーツ②身体・知的・精神			
第3回目	障害者の理解とスポーツ③(水中運動)	佐野日本大学高等学校 屋内プール		
第4回目	障害者の理解とスポーツ④(水中運動)	佐野日本大学高等学校 屋内プール		
第5回目	障害者の理解とスポーツ⑤身体・知的・精神			
第6回目	障害者の理解とスポーツ⑥身体・知的・精神			

第7回目	障害者の理解とスポーツ⑦身体・知的・精神	
第8回目	障害者の理解とスポーツ⑧身体・知的・精神	
第9回目	障害に応じたスポーツの工夫・実施(実技)①	
第10回目	障害に応じたスポーツの工夫・実施(実技)②	
第11回目	障害者との交流(実技)①	障害をお持ちで実際に普段スポーツを楽しまれている方を外部講師として招聘
第12回目	障害者との交流(実技)②	障害をお持ちで実際に普段スポーツを楽しまれている方を外部講師として招聘
第13回目	障害に応じたスポーツの工夫・実施(実技)③	
第14回目	障害に応じたスポーツの工夫・実施(実技)④	
第15回目	発表会：障害に応じたスポーツの工夫・実施(実技)⑤	
成績評価の方法と基準		
	評価の領域	割合
授業参加態度	50%	積極的に身体を動かしているか、そして協調性を持ってみんなと授業に臨んでいるかを評価基準とする
レポート		
調査報告書		
小テスト		
中間・学期末試験		
発表内容(態度含む)	50%	障害者スポーツの工夫・軽スポーツの作成を行い、発表する。
その他		
教科書と参考図書		
教科書：「障害者スポーツ指導教本 初級・中級」(財)日本障害者スポーツ協会編 授業担当者より適宜指示または資料を配布する		
履修上の心得・ルール		
初級障害者スポーツ指導員資格取得必須科目。意欲・積極性・人間性重視。		